

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月10日 (第1回)
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	佐賀県武雄市 41206
地域名 (地域内農業集落名)	武内町西梅野区 (西梅野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	27 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	20 ha
② 田の面積	11 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	2.2 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

- ・農事組合法人西梅野ファームに地域の農地が集積。
- ・園芸団地の整備もなされ、新規就農者の受け入れもしている。
- ・山間地の農地の管理と若手構成員の参加・技術の継承が課題。

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・水稻…チェックシートを用いた収量の平準化
- ・キャベツ・ブロッコリー…法人(地域)の所得拡大
- ・シンテツポウユリ…産地化、女性参加の取り組みとして実施

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・認定農業者である農事組合法人へ農地の集積、集約をしていく。離農する農家の農地は基本的に法人が引き受けて耕作を維持していく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	93 %	将来の目標とする集積率	95 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・当地区内では、法人の認定農業者1者による集団化が既に進んでおり、今後も同様に集約化を図り団地面積を拡大していく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・現在、大きく集積している経営体(法人格の認定農業者)に集積していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・農地の貸借については、今後、全て農地中間管理機構を通じて行い、法人へ農地の集積・集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
・基盤整備(暗渠排水)の実施を行い、環境整備に努めていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地域内には農事組合法人、認定農業者、認定新規就農者などさまざまな担い手が存在している。主要作物は違っても、同じ地域で農業を営む仲間として声を掛け合い、保全活動などに取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①…ワイヤーメッシュの設置と保安全管理を交付金事業などを活用し行っていく。
- ③…アプリケーションを導入し、営農管理・作業内容管理・生育予想・病気発生予想で運用している。今後は実際の農作業の省力化のための機材の導入も視野に入れる。
- ⑦…日本型直接支払制度の各種交付金を利用した保安全管理を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和17年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1 認農	武内町西梅野区認定農業法人1	米、麦、大豆、キャベツ	21.6 ha	ha	米、麦、大豆、キャベツ	21.6 ha	ha		
2 認農	武内町西梅野区認定農業法人2	アスパラガス・キャベツ	0.7 ha	ha	アスパラガス・キャベツ	0.7 ha	ha		
3 認農	武内町西梅野区認定農業法人3	米・露地野菜	1.8 ha	ha	米・露地野菜	1.8 ha	ha		
4 認農	武内町西梅野区認定農業者4	きゅうり	0.3 ha	ha	きゅうり	0.3 ha	ha		
5 認農	武内町西梅野区認定農業者5	アスパラガス・米・麦	1.3 ha	ha	アスパラガス・米・麦	1.3 ha	ha		
6 認就	武内町西梅野区認定新規就農者6	きゅうり	0.5 ha	ha	きゅうり	0.5 ha	ha		
7 認就	武内町西梅野区認定新規就農者7	アスパラガス	0.2 ha	ha	アスパラガス	0.2 ha	ha		
8 集	武内町西梅野区A営農組合	米・麦・大豆	0.4 ha	ha	米・麦・大豆	0.4 ha	ha		
9 集	武内町西梅野区B営農組合	米・麦・大豆	1.3 ha	ha	米・麦・大豆	1.3 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	9経営体		28.1 ha	0 ha		28.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)